



# 小田原男声合唱団 第51回定期演奏会



合唱組曲「山に祈る」の舞台となった北アルプス  
大天井（オテンシヨウ）岳から槍ヶ岳を望む

2022.12.25（日）午後3:15開場 午後4:00開演  
小田原三の丸ホール大ホール

主催 小田原男声合唱団  
後援 日本男声合唱協会JAMCA  
神奈川男声合唱協会KAMCA  
湘南合唱連盟  
小田原地区合唱連盟  
小田原音楽連盟



## ＜ ご 挨拶 ＞

### 小田原男声合唱団

団長 齋藤 恵司(さいとう けいじ)



本日は、私たち小田原男声合唱団の第51回定期演奏会にご来場いただき、本当に有難うございます。12月25日という暮れも押し迫った時期での開催。また16時開演という、これまでの演奏会とはやや異なる設定となっていました。また、皆様ご存知のように小田原は昨年の12月4日に『創立50周年記念第50回定期演奏会』を、この三の丸ホールの開館記念事業の一環として開催いたしました。新ホールにおいて、多くのお客様をお迎えして、信長貴富先生に作曲を委嘱した「わきめもふらず。ジグザグに。」を初演した喜びが今も心に強く残っています。

小田原の新たな50年へと向かうスタートを切った今年ですが、多くの課題を抱えています。1つは、団員の高齢化という問題です。現在の団員の平均年齢は、75歳に迫ろうとしています。健康上の理由等で団から離れるメンバーも多くなっています。それに伴い、2つ目として団員数の減少ということもあります。今年3人の新入団員がありました。全体的には昨年程度の団員数となっています。60人を超えるメンバーがいた時期もあることを考えると35人前後という数は少し寂しく感じます。しかしかつての小田原の華やかな栄光？に捉われることなく、私たちののできる範囲で男声合唱を楽しみ、歌い続けていこうと思います。私たち小田原をこれからも見守っていただければと思います。

また、男声合唱に興味を持たれた方の方の入団をお待ちしています。

本日の第51回定期演奏会は、3ステージ構成というプログラムとなっています。「雪国にて」は、小田原が4つの委嘱曲を作曲していただき大変お世話になった多田武彦先生の作品です。また、「関白宣言」は皆様が良くご存知の、さだまさしさんの名曲の数々です。正直なところ、実はこの曲に一番苦労してしまいました。ポップス調の曲が持つ独特なリズムになかなか追いつけませんでした。さて、今日の出来具合は…。そして、「山に祈る」のステージでは、土居裕子さんによる朗読が私たちの歌に大きな力を与えていただけなのではと思っております。趣の異なる3つのステージをお楽しみ下さい。

辻秀幸、村田雅之、中根希子、杉山範雄という実力、名声ともに秀でた4先生方にご指導をいただいている小田原ですが、その先生方の熱心なご指導に十分にお応えできていないのではという心苦しさもあります。こんな私たちを見放さず根気強くご指導いただいた先生方には本当に感謝申し上げます。

最後になりましたが、ここ数年間にわたる合唱活動を取り巻く社会情勢が厳しい中、私たちの活動にご理解、ご協力をいただく多くの皆様に心より感謝申し上げます。

# プログラム >

## I 男声合唱組曲「雪国にて」

堀口 大学 作詩  
多田 武彦 作曲

指揮 村田 雅之

1. 関川の里
2. 或る誕生
3. 雪の中の歌
4. 昔の雪
5. 老雪
6. 雪中越冬

## II 男声合唱組曲「関白宣言」 さだまさし作品による 鈴木 憲夫 編曲

指揮 ピアノ  
村田 中根 雅之 希子

1. 北の国から 遥かなる大地より
2. 秋桜(コスモス)
3. 関白宣言
4. 案山子(かかし)
5. 防人の詩(さきもりのうた)

休憩

## III 男声合唱組曲「山に祈る」

清水 脩 構成・作詞・作曲

指揮 朗読  
ピアノ 辻 土居 中根 秀幸 裕子 希子

1. 山の歌
2. リュック・サックの歌
3. 山小屋の夜
4. 山を憶う
5. 吹雪の歌
6. お母さん、ごめんなさい

### プロフィール 土居 裕子

愛媛県宇和島市出身。中学時代から音楽を神崎克彦氏に師事。1982年東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。劇団「四季」研究所入所。その後、ミュージカル劇団「音楽座」に主演女優として迎えられ、多くの名舞台を残した。退団後は、ミュージカルだけでなく、歌手としてのコンサート、アニメや映画の吹き替えなど、多岐にわたって活動。受賞歴：文化庁芸術選奨文部大臣新人賞(1990年) 読売演劇大賞優秀賞(1993年 1995年 1996年) WHO国際すこやか音楽大賞歌唱部門最優秀賞(1998年) 第54回伊國屋演劇賞個人賞(2019年)



## Ⅰ 男声合唱組曲 「雪国にて」

堀口 大学作詩 多田 武彦作曲

この男声合唱組曲は、1978年、上智大学グリークラブから委嘱された**多田武彦**（1930～2017）が、**堀口大学**（1892～1981）の同名の詩集から6つの詩を選んで作曲したもので、同年、北村協一の指揮により初演された。

太平洋戦争の末期、**堀口大学**は、激しくなくなった空襲を避けて、妙高山などの頸城（くびき）山塊の麓、新潟県関川村（現在の妙高市）に、年老いた父を伴って疎開していた。その後、高田市（現在の上越市）に転居したが、いずれも豪雪地帯である。詩はそうした生活の中で作られたもので、1947年に詩集「雪国にて」として出版された。

堀口大学は、父の帝大在学中に生まれ、本郷近辺に住んでいたので、「大学」と名付けられたという。父は、その後、外務官僚となり海外勤務が多く、長じて大学もそれに伴うなどして海外の生活が長く、フランス語が堪能であった。ポール・ヴェルレーヌなどの詩を翻訳して出版した翻訳詩集「月下の一群」（1925）は一世を風靡した。この詩集から、南弘明が5編を選んで作曲した男声合唱組曲「月下の一群」①（1977）を、小田男も一昨年の第49回定期演奏会で取り上げた。また、彼の処女詩集「月光とピエロ」（1919）から清水脩が作曲した同名の男声合唱組曲（1949）は、男声合唱の“スタンダード・ナンバー”となっている。

父の朝鮮赴任のため、2歳の大学は、母と共に、父の故郷、新潟県長岡町（現在の長岡市）に移り、そこに、17歳まで住んでいて、深い雪にはなじみがあったからか、この組曲に取り上げられた詩からは、深い雪を憂鬱なものだと感じているようには読み取れない。

### 第1曲 関川の里（ややおそく、しみじみと）

Tenor soloが歌い始める。

“越の国 中つ頸城の 名香山の 関川の里 ……”  
いくさを逃れて静かに暮らしていた関川村で、愛する父を失った。妙高の麓の、雪深い関川の里で……。

### 第2曲 或る誕生（はやくほのぼのと）

“雪の脇腹から彼女は生まれた 梅花の香る夜明けでした。”  
生まれた赤子の揺りかごの周りを、雪が止んで顔を出した月の光が明るく照らしていた。……清い乙女になるように、この子を「雪子」と名付けよう。……  
3/4拍子の明るい F-durである。

### 第3曲 雪の中の歌（ややおそく）

流れるメロディに誘われて、Baritone soloが歌う。  
“遠くで僕は歌っている 神にもそれはまきこえない”  
近づく春の「ばら」の歌なのに、広い雪原の中の一軒家だから、誰にもそれは聞こえない。ただ、厚い雪に吸われていくだけだ。  
導入部と同じメロディが流れ、それが雪に吸われて終わる。

### 第4曲 昔の雪（非常に早く）

Tenorが歌い出す。“ひとりの女の子”。T2からB2へ、パートからパートへ、そしてT2とB1が醸し出すいわくありげなメロディの後に、全声部によって歌われる、“その女の子”。

可愛かった“あの女の子”は今頃どうしているだろうか？

“みんな昔の雪だ。昔の雪はどこへ行ったのか？”  
変化するハーモニーの中で“あの女の子”に対する想いが熱い。

あつという間に終わる短い曲である。

### 第5曲 老雪（ややおそく）

弥生半ばとなり、さすがの大雪もくたびれてきたようだ。降ったばかりの頃の「艶や香り」もなくなり、年老了いた“わたし”に似てる。いずれ咲くだろう花も見ずに消えてゆくのだ。

静かに消えていく“老雪”が、smorz. で表されている。

### 第6曲 雪中越冬（中庸の速度で 思いを込めて）

Tenor soloが思いを込めて歌う。

“越後の冬は長いから 半とし続く冬だから 高田の雪は深いから 人の情けと似ないから”  
深い雪の中の長い越後の冬を歌っているが、決して暗くはない。  
合唱がsoloを受け継いで、美しいG-durのハーモニーで終わる。

この曲を作曲した**多田武彦**は、男声合唱を愛する男達にとつて、忘れられない人物である。学生指揮者として、京都大学男声合唱団を指揮して、コンクールで関西学院グリークラブと競うまでに成長させた実績もあり、男声合唱のもつ「豊かさ」を実践により習得したのであろう。在学中から清水脩に作曲の指導を受けていたが、「アカペラ（無伴奏）に集中するように」と言われたという。それに従ってか、彼の男声合唱曲のほとんど全てが無伴奏である。それを歌う合唱団員は、無意識のうちに「純正調」の響きに埋もれ、それに感動して、とりこになつていくのではなからうか。

白秋の詩に作曲した処女作「柳河風俗詩」は、京大男声によって1954年に初演されたが、その後、多くの男声合唱団に取り上げられ、愛唱されている。銀行員としての勤務の傍ら、多くの合唱団からの委嘱に応え、男声合唱の持つ豊かな響きと表現力を駆使して、多くの日本の詩人の詩に作曲している。

小田原男声合唱団も、2001年に「西湘の風雅」を、2006年に「互寒小景」を、2008年に「四季點綴」を、2011年に「達治の旅情」を、など4曲を委嘱・初演している。

＜白石久司＞

## II 男声合唱曲集「関白宣言」さだまさし作品による

鈴木 憲夫 編曲

男声合唱曲集「関白宣言」は千葉県市川市の市川男声合唱団（指揮者田中安茂）の委嘱により、鈴木憲夫が編曲したものである。

初演は、東日本大震災の年、2011年11月26日、第8回定期演奏会。

鈴木憲夫はさだまさしと同年代でもあり、初めて購入したポップスのレコードが「関白宣言」だった。その頃お付き合いされていた亡き奥様に面白半分に贈った1枚でもあった。全5曲構成。

### 「北の国から 遙かなる大地より」

ある放送局とのコラボなどで都会生活に嫌気がさし、1974年に安住の地となる富良野に移住した脚本家倉本聰が、フジTVから「北海道を舞台にしたドラマ」の企画依頼で書き下ろしたのが、名作「北の国から」である。放送は、1981年10月～1982年3月全24話。

その後、一大ブームになったこともあり、ドラマスペースシャトルとして制作が続ぎ、2002年まで続いた。長崎県出身のさだまさしに何故オファーがあったのかの真相は謎だが、都市伝説によると北海道出身の松山千春が、倉本聰に才能豊かなさだまさしを紹介したといわれている。

最初、さだは「北海道出身のシンガーが居るでしょ」と松山千春を慮る理由で断ったようだが、倉本に何度も説得されて渋々承諾したと言う。

### 「秋桜（コスモス）」

1977年10月に山口百恵の19枚目のシングルとして発売された。日本の歌百選に選ばれた名曲である。

当時、阿木耀子・宇崎竜童によるソックパリ路線で走っていた山口百恵に新たなキヤラクターが加わった。凛とした大和撫子。歌詞の中にある「小春日和」が当初のタイトルだったが、プロデューサーの提案で秋桜に変更された。スタジオ録音に立ち会えなかったさだは山口百恵に電話した。「結婚をテーマにした歌だからなかなかピンとこないでしょうけど、がんばってね。」と。

当時18歳だった山口百恵は、「はい。でも、がんばりませう」と。その後、三浦友和と結婚することで引退を決意。ラストコンサートで白いマイクを置いた山口百恵は、さだに「この歌の意味がようやくわかりました。」というメッセージを送っている。

### 「関白宣言」

ジェンダー平等が世に謳われているこの時代に、この曲？ではあるが、1979年に発売されているので、ご容赦いただきたい。さだが山本直純に紹介されて通っていた京都先斗町のスナック「鳩」のママから「最近の男はダメになった。だから、若い娘もダメになった。男はん、しつかりしとくれやっしや！」なる歌をつくって欲しいということが生まれた。関白宣言は、160万播放を超えるミリオンセラーとなった。しかし、内容的に男尊女卑だ

と多くの物議を呼んだ。色々と問題はあったが、マーケティング的にはそれでほとんとさだを聴かない新しい購買層を生み、成功したといえる。「亭主関白」「関白音頭」といった間違ったタイトル名で買いに来た客も多かったという。その後、さだの心境の変化もあったのか、主人公の反省もあったのか、…「関白失脚」という曲が生まれた。「お前を嫁にもらったけど 言うに言えないことだらけ 俺より先に寝てもいいから 夕飯ぐらいは残しておいて…」と。

### 「案山子（かかし）」

1977年11月に発売されたシングル曲。この歌は大部分から福岡に実弟の佐田繁里と列車で移動していた際に兄弟が見た風景がきっかけだという。雪の中の寂しそうな案山子（かかし）が、自分自身の経験した都会暮らし、弟の台湾留学時の生活などと重なって生まれた曲である。サンマーク出版から、さだまさしの世界観としての絵本シリーズが出版された。その第一弾が、この案山子。さだはこの本のあとがきで、このように言っている。

「～ひとりじゃやないんだよ～実は、僕は今でもこの歌を歌いながら心の中でそういうメッセージを送り続けている。人が人であり、親が親であり、子が子である限り、この歌は誰かが淋しい時に腰かけて、誰かの心を暖める歌なのかも知れない。自分で作った歌なのに、そう客観的に思えるほど時間が過ぎた。うん。やはり歌は作るのではなく、何者かによって作られるものだと思う。自分でも気に入っている大切な歌のひとつだ。」

### 「防人の詩（さきもりのうた）」

1980年発売。日露戦争の攻防戦をテーマにした映画「二百三高地」の主題歌である。音楽監督が前述の山本直純。山本は、さだに依頼する際に、「戦争で勝利した！万歳！を描くのではない。戦争にまつわる人間の小さな営みを浮き彫りにしたいのだ。」と伝えた。

さだは、当時関白宣言のバッシングに悩んでいた。そのような時に、同郷ということもあり、メンター的な立場でさだを励ましていた文芸評論家の山本健吉から様々な示唆をもらっていた。さだが、戦争映画の主題歌に、亡くなってしまう大切な人、遠くに行ってしまった大事な人という万葉集の防人に重ねた歌詞を採用したのも山本健吉の存在が大きいのではないだろうか。

防人とは、飛鳥～平安時代に唐・新羅から北九州エリアを防御するために派遣された兵たちのこと。この歌詞は、万葉集16巻第3852番にある内容から生まれた。意識すると「海は死にますか 山は死にますか そう……死ぬのです。死ぬからこそ潮は引き、山は枯れるのです。」となる。

### III 男声合唱組曲「山に祈る」

この組曲の曲名は、昭和34年秋に長野県警察本部が頒発する山での遭難防止を訴えて作成した小冊子の題名「山に祈る」から採られました。この小冊子は、山の遭難者の母親らの手記を集めたものです。ダークダックスのゲタさんは週刊誌でこの小冊子のことを知りまりました。そして、この小冊子の第一編を合唱組曲として歌うことが雪山遭難防止キャンペーンの一助になると考えたダークダックスは、長野県警に連絡し、合唱組曲を作る許可をもらいました。

組曲の作詞は若く才能ある詩人として紹介された寺山修司に依頼し稿を重ねましたが、ダークダックスの企画意図とあうものにならなかったため、作曲を依頼する予定であった清水脩に構成と作詞も含めてすべてを依頼しました。

清水脩の作詞作曲「山に祈る」・男声四重唱と小管弦楽のための組曲は、昭和35年に完成し、ダークダックス第4回リサイタル・神戸で、昭和35年3月23日に初演されました。その後は京都、大阪、さらに名古屋で演奏されました。

当時、カワイ楽譜の社長であった清水脩は、ダークダックスに断りなしに、ピアノ伴奏の編曲をして合唱組曲「山に祈る」男声編としてカワイ楽譜から昭和35年5月30日に出版しました。次いで、合唱組曲「山に祈る」混声編も出版しました。更に清水脩指揮の二期会合唱団の混声合唱と四人の二期会歌手による男声四重唱、管弦楽は東京フィルハーモニー管弦楽団のレコードが東芝レコードから昭和35年11月に発売されました。

これらのことを知ったダークダックスは大きな衝撃を受けました。

ダークダックスの歌うレコードが発売されたのは、初演の昭和35年から16年後の昭和51年頃でした。カワイ楽譜の合唱組曲男声編はクロバークラブが昭和35年6月27日に初演しました。

この組曲自体を解説するには、カワイ楽譜の合唱組曲「山に祈る」男声編に清水脩が載せた文章が最適でしょう。その文章の一部を転載します。

### 清水脩 構成・作詞・作曲

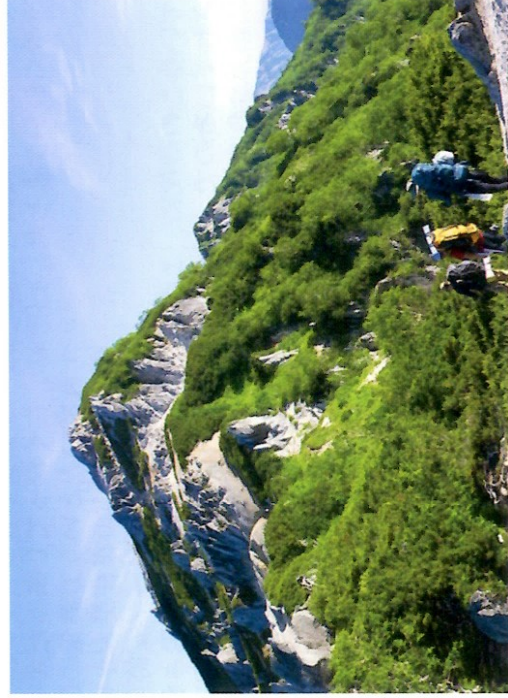
この曲をつくるに当たって、私は前記「山に祈る」の小冊子を中心に春日俊吉氏の「山岳遭難記」、上智大学山岳部誌「モルゲンロート」「マウンテン・ガイド・ブック」、地図その他を参照したが、特に、遭難当時のパーティーであった上智大学山岳部の学生諸君から、じかに当時の模様を聴くことができたのは幸いであった。それは、雪山とその遭難について、できるだけ嘘のないものを書きたいと思っただけである。しかしこれは音楽物語であるために、いくらか誇張されたところもあるし、フィクションもある。また、私自身の山への思慕も盛った。内容は、一遭難者が書き残した最後の手記と我が子を亡くした母親の悲しみを、母親の朗読と歌とで進めたものであるが、曲はできるだけポピュラーなものにしようと努めた。誰もがすぐに口ずさめる平易なメロディーで埋めた。

全体の構成の上で特におきたいのは、母親の朗読で物語の筋を進め、歌はその外側にあって、物語の情景や情緒を表現する役目を果たしていることである。従って、主人公の元気な姿から、死に至る筋に合わせて最初の「山の歌」から、最後の「お母さん、ごめんさい」に至る六曲の歌は明るい曲調から次第に暗い曲調に移ってゆくようにした。

カワイ楽譜がなくなり、清水脩は自分の作曲した楽譜の版權を音楽之友社に移動させました。今は男声合唱組曲「山に祈る」は音楽之友社から出版されています。これにはカワイ楽譜の合唱組曲「山に祈る」男声編に清水脩が載せていた文章は除かれています。

古来、高い山には神様がおわすと信じられており、山岳信仰が続いています。高い山の山頂と麓に神社が作られました。箱根山には芦ノ湖畔に見える大鳥居を通して参道に上がると箱根神社が有り、駒ヶ岳山頂には箱根元宮（奥宮）が有ります。長野県警本部が作成した小冊子「山に祈る」は高い山におわす神様に登山者の安全を祈願するということだと私は考えます。

< 菊池義彦 >



## < 「山に祈る」に寄せて 豆知識 >

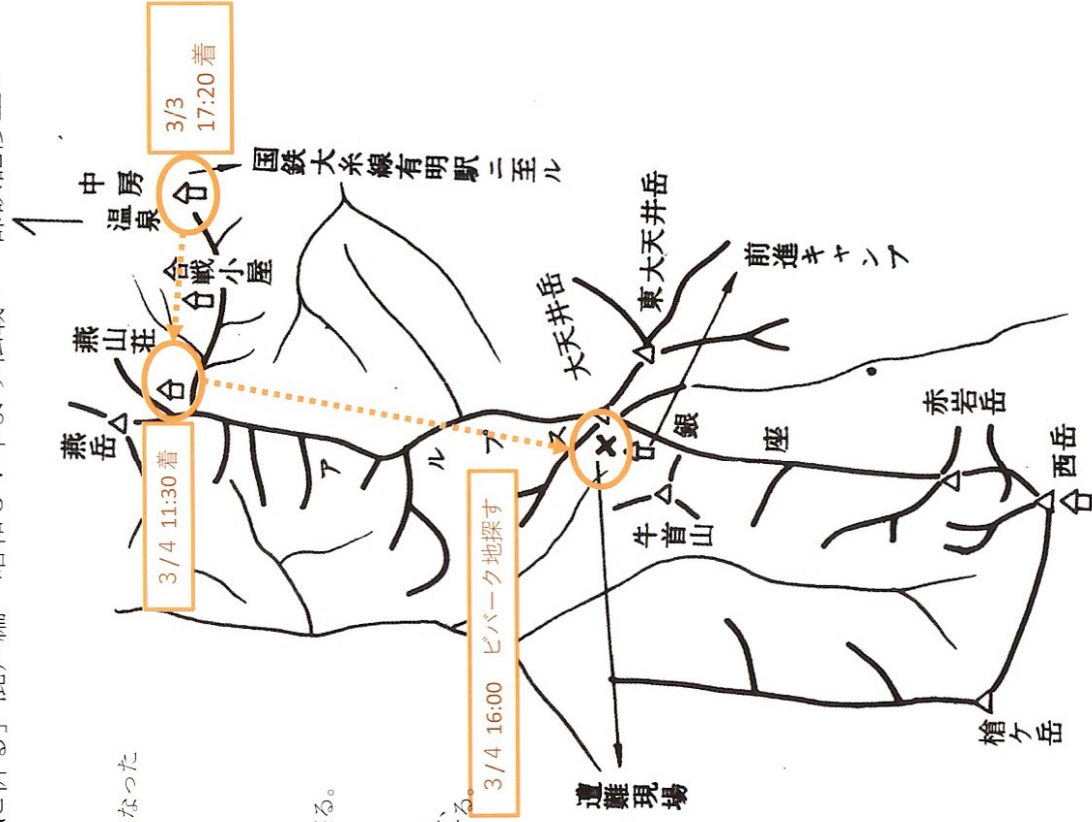
合唱組曲「山に祈る」は山に憧れ、山を想い、そして山で亡くなった若者の姿をその母親の語りと合唱を通じて表現したものです。歌詞や朗読の中に山男でなければ分からない専門用語（？）もいくつか使われています。今回は、昭和37年に発行された混声版楽譜に収録された用語解説をご紹介します。

併せて、飯塚揚一君（曲の中では誠君）がたどった登山ルートをご紹介します。右の地図はJR大糸線有明駅と中房温泉、大天井岳（オテンシヨウダケ）、槍ヶ岳周辺の位置関係を示しています。右下の地図はもう少し詳しい地図（カワイ初版版所収）のものです。



## < 山岳用語の解説 - カワイ楽譜版 合唱組曲「山に祈る」混声編 昭和37年より転載——一部誤記修正 >

アタック ガレ場 コル	岩壁や頂上へとりつくこと。 ガレともいい、山肌のくずれ場所。 鞍部のこと。尾根の一部が馬の鞍のように平になった場所。
重装備	登山に必要なすべての用具、食糧などをリュックサックにつめることで、優に30キロはある。
シラフ	寝袋。内側に羽毛などを詰めた携帯用寝具。その中にすっぽりとはいって寝る。
シラフカバ	寝袋のカバー。
前進キャンプ	目的の山に一番近い場所にテントを張り、用具、食糧その他を運び、そこを最前線の根拠地とする。
手帖	登山者が記録や日誌をつける。
チョコレート	甘味の嗜好品は山では貴重で、遭難に際してチョコレートかあめ玉、又は缶詰のなかからが生命を救うことがある。
テラス	岩場の一部がテラスのように平になった所。
トレース	先発者の進んでいった踏跡。
雪崩の巣	雪崩がよく起こる場所。
眠い	凍死の寸前では、ひどく眠気を催し、眠りはそのまま死へつながる。
ピーク	頂上。
ビバーク	露宿。その場所をビバーク地という。
ヒュッテ ルート	山小屋。 登山道。





**常任指揮者 辻 秀幸**  
東京藝術大学声楽科及び同大学院独唱科修了。イタリミアラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学、各地でコンサートに出演し好評を博す。その後、国内外で イタリア・ドイツ・日本歌曲を中心にユニークなリサイタル活動を展開。オペラではその歌唱と演技において度々新聞各紙で絶賛された。宗作曲演奏のスペシャリストとしても、ソリスト・指揮者として、

その活動は常に注目を集めている。アマチュア合唱団の育成にも力を注ぎ、現在 16 団体の指導に関わっている。日本全国で、合唱講習会・合唱祭講師・コンクール審査員を務める。コーラス関係のテレビ・ラジオ番組での出演も多く、お身体と共に活動の場は、常に広がり続けている。

日本合唱指揮者協会理事、東京都合唱連盟理事長、東京藝術大学・国立音楽大学・洗足学園音楽大学の各非常勤講師。

2016 年より小田原男声合唱団の常任指揮者。



**指揮者 村田 雅之**  
石川県出身。中学時代より吹奏楽で指揮者、合唱部でピアノを務める。横浜国立大学工学部を卒業。在学中はグリーククラブに籍を置き、1 年次より学生ピアノリスト、3 年次からは学生指揮者を務める。在学中より多くの一般合唱団や講習会に参加、合唱全般の研究を積み、栗山文昭・松下耕・伊東恵司の各氏から影響を強く受ける。音楽関連会社に勤務の傍ら、なにわコロリアーズ、合唱団お江戸コラリアーズ（全日本合唱コンクール全国大会 同声合唱の部門

金賞・最優秀団体・文部科学大臣賞・シード合唱団）に於いては、歌い手の他、指揮・ピアノ・打楽器を担当する。横浜国立大学グリーククラブ・立正大学グリーククラブ・男声合唱団 東鶴（あずまつる）・Kiyohachi Bravo's などの合唱団に於いて、指揮・ピアノ・アンサンブルトレーナーを務める。

2014 年にトレーナーとして小田原男声合唱団で指揮・ピアノを担当する。2016 年より指揮者に就任する。2022 年 9 月 24 日に第 27 回早慶交歓演奏会において合同演奏（廣瀬量平「五つのラメント」）を各演指揮し好評を博す。



**ピアノ 中根 希子**  
小田原市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。第 3 回長江杯国際音楽コンクール第 2 位等多数入賞。ウィーン、シカゴ等での音楽セミナーマスタークラス参加、ディプロマ取得、修了演奏会出演。植田克己、佐藤俊、ノエル・フローレスの各氏に師事。1999 年ポーランド共和国大使館後援「日本ポーランド国交樹立 80 周年記念及び国際シヨパン記念演奏会」に出演。2007 年以降「市民による小田原音楽フェスティバル」では、小林研一郎・

末廣誠・広上淳一・富澤裕・山田和樹・黒岩英臣・佐藤眞・瀬山智博の各氏の指揮のもと、第九・モーツァルトレクイエム・ドイツイレクイエム・メサイア等の演奏会でピアノアシスタントを務める。2009 年ウィーンフィルメンバール、シュトイデ弦楽四重奏団と共演、2012 年・2015 年小田原でソロリサイタル開催他、2013 年ヴァイオリン豊嶋泰嗣、2014 年小田原フィルハーモニー、天満敦子他著名人との共演、いずれも好評を博す。2021 年小田原三の丸ホールに於いて、ピアノ選定に貢献、同年 9 月ピアノ開きソロコンサートを開催、好評を博す。共立女子大学講師。



**ヴォイストレーナー 杉山 範雄**  
小田原少年少女合唱隊に入隊。ルネッサンスから現代まで多くのアカペラ・アンサンブルを学ぶ。東京藝術大学音楽部声楽科を経て、これまでに、「コシ・ファン・トゥッテ」「ドン・アールフォンソ、「カルメン」エスカミーリヨ、等」を演じ、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」等、演奏会バスソロにて多数出演、小泉ひろし・小林研一郎・

飯森範親等、各指揮者のもとソリストを務める。また、合唱指導にも意欲的に取り組み、文化庁講師派遣によるワークシヨップ・関東各地合唱祭の講師を務める。現在、東京・神奈川を中心に指導団体は 13 におよぶ。小田原男声合唱団、明治大学グリーククラブ、中央区プリエール・ジュニアコーラス、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」等の歌唱指導にも取り組む。

杉友会優しい合唱講座講師。神奈川県合唱連盟副理事長。日本合唱指揮者協会会員。神奈川県文化芸術振興審議会委員。

# 令和3年度～4年度（2021年～2022年）主な事業等

2021年	2020年度総会	谷津公民館
5.4 (火)	湘南合唱祭(コロナのため中止)	
6.6 (日)	～9月12日まで練習休止	
8.15 (日)	～31日帰りの合宿	
10.30 (土)	第54回小田原市民合唱祭 15団体参加	小田原三の丸ホール 大ホール
11.3 (祝)	創立50周年記念第50回定期演奏会	小田原三の丸ホール 大ホール
12.4 (土)		
2022年		
2.1 (火)	～22日まで練習休止	
2.11 (祝)	神奈川県合唱フェスティバル 映像参加	県立音楽堂
2.15 (火)	2021年度総会	谷津公民館
3.21 (祝)	第2回KAMCA男声合唱セミナー	横浜市技能文化会館
6.5 (日)	湘南合唱祭	海老名市立文化会館
10.16 (日)	第55回小田原市民合唱祭	小田原三の丸ホール 大ホール
11.3 (祝)	第17回KAMCA演奏会	横須賀市文化会館
11.26 (土)	日帰りの強化練習	尊徳記念館
11.27 (日)	日帰りの強化練習	谷津公民館
12.23 (金)	リハーサル	けやき視聴覚室
12.25 (日)	第51回定期演奏会	小田原三の丸ホール 大ホール

## 第52回定期演奏会 2023年12月 開場13:15 開演14:00 小田原三の丸ホール 大ホール 予定曲目：「尾崎喜八の詩から」「やさしい魚」他

### 合唱団員 随時募集

#### ♪ いっしょに歌いましょう ♪

年齢 高校生～80歳代と幅広い年齢層です。  
 年齢 男声で歌好きであれば、どなたでも歓迎です。復団された方もたくさんおられます。  
 年齢 勿論、初めての方でも大丈夫です。お気軽にお越しください。練習用・パート別音取り音源等を用意します。  
 年齢 隔年の日本男声合唱協会、神奈川県合唱協会の演奏会では、400余名による合同曲も演奏できます。  
 年齢 小田原・湯河原・三島・南足柄・二宮・茅ヶ崎・藤沢・鎌倉・横浜・大井・開成・秦野・伊勢原・厚木  
 年齢 ・海老名と広範囲です。  
 年齢 毎週火曜日 18:30～20:45 月末の日曜日 13:30～16:45  
 年齢 小田原谷津公民館 (小田原新幹線口より徒歩7分) 旭丘高校音楽室 (小田原駅より徒歩7分)  
 年齢 杉本 TEL 090(4677)6315 青野 TEL 090(4026)6771

### ワンスアゲインズシンバーク募集

#### ♪ 2023年12月予定の第52回定期演奏会で、一緒に歌いましょう♪

年齢 高校生～80歳代と、年齢制限はありません。  
 年齢 男声で歌好きであれば、どなたでも歓迎です。ワンスアゲインズと一緒に歌いましょう。  
 年齢 初めての方でも大丈夫です。練習用・パート別音取り音源等を用意します。  
 年齢 火曜日 19:30～20:45 小田原谷津公民館 (小田原新幹線口より徒歩7分)  
 年齢 6月より月1～2回平均 計15回程度を予定 (練習日の詳細は下記連絡先まで)  
 年齢 練習日程等詳細は3月からご案内します。  
 年齢 問合せ先 杉本 TEL 090(4677)6315 青野 TEL 090(4026)6771  
 年齢 検討中 (月会費はなし) 楽譜代は実費です。募集は3月より受け付けます。  
 年齢 ステージ衣装は黒のスーツ (シングルorダブル) です。男声合唱組曲 (邦人作品を予定 1月に確定)

### 委嘱曲の歩み

2001年	第30回記念定期演奏会委嘱曲	男声合唱組曲「西湘の風雅」大木博夫作詞 多田武彦作曲	初演 再演 JAMCA 金沢
2006年	第35回記念定期演奏会委嘱曲	男声合唱組曲「沓寒小景 (ごかんしょうけい)」北原白秋作詩 多田武彦作曲	初演 JAMCA 大分
		男声合唱のための宮崎駿アニメ映画音楽集 信長貴富編曲委嘱	
		さんぽ 中川季枝子作詞 久石 譲作曲	初演
		いつも何度でも 覚 和歌子作詞 木村 弓作曲	初演
		さんぽ～finale～ 中川季枝子作詞 久石 譲作曲	初演
2008年	第37回定期演奏会委嘱曲	男声合唱組曲「大木博夫の詩から 四季點綴 (しきでんてい)」大木博夫作詩	多田武彦作曲
		5つのオアハケーニャによる憧憬 信長貴富編曲委嘱	初演 JAMCA 滋賀
2009年	第38回定期演奏会小田原地区合唱連盟40周年記念委嘱曲	男声合唱とピアノのための「赤い鳥小鳥」-北原白秋詩集- 信長貴富編曲委嘱	初演
2011年	第40回記念定期演奏会委嘱曲	男声合唱とピアノのための「我が詠友」三好達治/丸山薫作詩 信長貴富作曲	初演 JAMCA 札幌
		男声合唱組曲「達治の抒情」三好達治作詞 多田武彦作曲	初演
2021年	創立50周年記念第50回記念定期演奏会委嘱曲	男声合唱組曲「わきももふらず。ジグザグに。」及川均作詩 信長貴富作曲	初演

# 小田原男声合唱団 50年の歩み

- ・ 1971年 4月 小田原男声合唱団設立発起人会（発起人5名）発足
- ・ 1971年 7月 福永陽一郎先生に指揮者をお願いし、快諾を頂く
- ・ 1972年 11月 2日 小田原男声合唱団発足 第一回練習 @小田原城内小学校
- ・ 1972年 5月 16日 創立記念第一回定期演奏会（団員40名余）開催
- ・ 1973年 10月 29日 第27回全日本合唱コンクール関東大会で金賞受賞
- ・ 1973年 10月 28日 第28回全日本合唱コンクール関東大会で銀賞
- ・ 1974年 11月 24日 第28回全日本合唱コンクール全国大会で銅賞受賞
- ・ 1974年 1月 27日 日本男声合唱協会（JAMCA）に加盟
- ・ 1975年 1月 19日 日本男声合唱協会（JAMCA）第二回定期演奏会に初参加（この後、毎回参加）
- ・ 1976年 5月 22日 東芝「現代合唱シリーズ」に多田武彦作曲「雨」（レコード）を収録
- ・ 1976年 10月 24日 第30回全日本合唱コンクール神奈川大会に参加（これが最後の参加となった）
- ・ 1977年 11月 6日 東海メール・クワイヤーとの第一回ジョイントコンサート
- ・ 1980年 3月 19日 ベルリン・リーダーターフェルとの合同演奏会@小田原市民会館
- ・ 1981年 3月 22日 日本男声合唱協会（JAMCA）の第五回演奏会を小田原で開催
- ・ 1986年 9月 13日 福永陽一郎先生還暦コンサート
- ・ 1987年 年末 福永陽一郎先生指揮者を辞任
- ・ 1987年 9月 渡邊決己氏指揮者に就任
- ・ 1990年 2月 10日 福永陽一郎先生逝去
- ・ 1991年 7月 14日 福永陽一郎先生追悼演奏会（第19回定期演奏会）
- ・ 1991年 2月 10日 福永陽一郎先生追悼コンサート@東京芸術劇場
- ・ 1992年 7月 13日 第20回定期演奏会で多田武彦氏が「柳河風俗詩」を客演指揮
- ・ 1992年 7月 11日 第21回定期演奏会で外山浩聖氏が「光の海」を客演指揮
- ・ 1994年 9月 18日 神奈川男声合唱協会（KAMCA）発足
- ・ 1995年 4月 22日 神奈川男声合唱協会（KAMCA）第一回演奏会（小田原市民会館）
- ・ 1996年 外山浩聖先生が音楽監督・常任指揮者に就任
- ・ 2001年 9月 15日 石井敏先生の傘寿祝賀コンサートに参加
- ・ 2006年 11月 10日 第30回記念定期演奏会 委嘱曲は「西湘の風雅」
- ・ 2006年 1月 6日 ウイーン演奏会（ウイーンコンツェルトハウス）で「月光とピエロ」他を演奏
- ・ 2007年 11月 18日 第35回記念定期演奏会 委嘱曲は「互寒小景」
- ・ 2007年 9月 29日 日独交歓演奏会でアルベルト・フイッシャー合唱団と共演（小田原市）
- ・ 2010年 10月 26日 バルト三国演奏旅行
- ・ 2010年 4月 9日 第43回サンフランシスコ桜まつり 日米合唱コンサートに参加
- ・ 2010年 4月 11日 小田原市の姉妹都市チュラヴイスタ訪問 演奏会出演
- ・ 2011年 7月 17日 日本男声合唱協会（JAMCA）北海道演奏会で委嘱曲「わが詩友」を初演
- ・ 2014年 6月 2日 チュラヴイスタ市訪問使節 歓迎レセプションに参加
- ・ 2014年 9月 27日 ドイツ遠征 アルベルト・フイッシャー合唱団と共演
- ・ 2016年 11月 15日 第43回定演で辻秀幸氏が「土の歌」を客演指揮
- ・ 2017年 2月 外山先生が名誉指揮者、辻先生が常任指揮者、村田先生が指揮者に就任。
- ・ 2017年 9月 2日 辻先生還暦記念演奏会に出演@ミューザ川崎シンフォニーホール
- ・ 2019年 9月 29日 石井敏先生没後10周年記念コンサートに出演
- ・ 2020年 12月 19日 新型コロナウイルス禍の諸悪条件の下で第49回定期演奏会@南足柄文化会館を開催。
- ・ 2021年 12月 4日 50周年記念第50回定期演奏会を新設の小田原三の丸ホールで開催  
委嘱曲「わきめもふらず。ジグザグに。」を初演

# Members 2022

## 小田原男声合唱団

T1	加藤 重喜 (秦野市)	上利 宏司 (小田原市)	B1	一色 義信 (秦野市)
	齋藤 惠司 (伊勢原市)	池田 武人 (秦野市)		磯田 幸男 (小田原市)
	露木 聰 (小田原市)	岩越 万里 (小田原市)		亀山 忠彦 (小田原市)
	中島 弘光 (二宮町)	江川 卓男 (鎌倉市)		坂口 宗夫 (小田原市)
	堀内 哲夫 (小田原市)	加藤 和信 (小田原市)		鈴木 壽久 (南足柄市)
	水城 高嶺 (秦野市)	菊池 義彦 (小田原市)		田島 達也 (南足柄市)
T2	青野 幸夫 (秦野市)	高橋 敬 (南足柄市)		千葉陽一郎 (海老名市)
	奥住 隆之 (茅ヶ崎市)	中村 隆行 (秦野市)		野口 吉昭 (横浜市)
	下川 幹生 (小田原市)	西山 深井 孝 (三島市)		廣瀬 友二 (秦野市)
	白石 久司 (開成町)			柳田 圭一 (湯河原町)
	杉本 健二 (南足柄市)			
	高瀬 昇次 (小田原市)			
	土肥 雄一 (二宮町)			
	福井 隆 (二宮町)			

### 運営スタッフ

名譽指揮者	外山 浩爾	指揮者	村田 雅之	非常任指揮者	辻 秀幸	情報部長	上利 宏司	JAMCA担当	杉本 健二	演奏会スタッフ	土肥 雄一
ピアノ	中根 希子	財政監査	田島 達也	事務局長	福井 健二	50周年記念誌	齋藤 隆夫	KAMCA担当	鈴木 壽久	演	野口 吉昭
ヴォイス	トレーナー	編集制作	池田 武人	技術部長	福井 隆	編集制作	福井 隆	小田原地区	露木 聰	合唱	高嶺 隆
杉山 範雄				団内指揮者	福井 隆		雄一 隆	合唱連盟	杉本 健二	会	茂樹 二樹
				財政部長	土肥 雄一		幸夫 隆	合唱連盟	鈴木 壽久	計	茂樹 二樹
				事業部長	青野 幸夫		昇次 隆	合唱連盟	露木 聰		里 聰
				団員部長	高瀬 昇次		聰	合唱連盟	杉本 健二		夫 司
				渉外部長	露木 聰		隆	合唱連盟	柏木 晶子		司 彦
							隆	合唱連盟	青野 幸夫		司 彦
							隆	合唱連盟	白葉陽一郎		司 彦
							隆	合唱連盟	千葉陽一郎		司 彦
							隆	合唱連盟	野口 吉昭		司 彦
							隆	合唱連盟	水城 高嶺		司 彦
							隆	合唱連盟	柳田 圭一		司 彦
							隆	合唱連盟	杉本 健二		司 彦
							隆	合唱連盟	柏木 晶子		司 彦
							隆	合唱連盟	青野 幸夫		司 彦
							隆	合唱連盟	杉本 健二		司 彦

混声合唱団小田原木曜会 様  
 混声合唱団シングナス'94 様  
 小田原市文化サポーター 様

E-Mail : [odadan2020@gmail.com](mailto:odadan2020@gmail.com)

URL : <http://odadan.org/>

## ♪♪ 演奏会にご来場のお客様へのお願い ♪♪

この度は小田原男声合唱団第51回定期演奏会にご来場いただきまして、ありがとうございます。つぎましては、ご来場のお客様には下記の事項をお守りください。どうぞご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 《 1 ご入場の際は 》

- (1) 受付にて検温をさせていただきます。
- (2) 備え付けの消毒液にて手指の消毒(手荒れ等では自前で)をお願い致します。
- (3) チケットの半券は、ご自身で切り取り、回収箱にお入れください。
- (4) プログラムは1部ずつ、各自でお取りください。
- (5) 花束や贈り物の受け付けは行っておりません。

### 《 2 会館からのお願い 》

- (1) 会場内では常時正しいマスクの着用(鼻からあごまで)をお願い致します。
- (2) 不織布マスクを推奨しますが、お客様同士の距離は考慮ください。
- (3) 換気は常に行っていますが、密にならないよう距離をとって並んでください。
- (4) トイレを利用する場合は、密にならないよう距離をとって並んでください。
- (5) こまめな手洗い、手指の消毒をお願いします。
- (6) 館内での飲食はお控えください。
- (7) 退場する際は、放送の指示に従っていただきます。

### 《 3 主催者からのお願い 》

- (1) 演奏効果上ステージではマスクを使用しませんが、科学的検査結果以上に距離を取っていますので、ご理解ください。
- (2) 1F最前列4列は、使用できません。ご理解ください。
- (3) 演奏後の団員との交流はできません。
- (4) ロビーやホールエでは、会話は控えめに、必要最低限に留めてください。
- (5) 終演後の出演者によるお見送り、ロビーコールは行いません。
- (6) 帰宅時に、洗顔・手洗い・うがい・消毒等をお願いします。
- (7)

## あなたの座席番号 列 番

この用紙は、演奏会終了後、10日間、ご自宅にて保管ください。

収集した個人情報、コロナウイルス感染防止目的にのみ利用し、法令に基づく場合同意がある場合を除き、多目的に利用及び他者に提供することはありません。演奏会から、一ヶ月経ちましたら、お預かりした情報は全て破棄させていただきます。

## 第1ステージ

雪国にて 作詩 堀口大学 作曲 多田武彦

### 1 関川の里

越こしの国な中かつ頭城くびきの  
名香山なみやまの関川せきがわの里

神にもそれはきこえない

千里もつづく雪の原  
白い世界の一軒家

この里にいくさをのがれ  
この里に父を死なしめ

しかも四月のぼらの歌  
人にもそれはきこえない

この里に雨露をしのぎて  
この里に餓ゑをしのびき

### 4 昔の雪

妙高たけのの裾野すその末の  
深雪ふかゆきふる関川せきがわの里

一人の女の子  
一人の女の子

### 2 或る誕生

雪ゆきの脇腹わきはらから彼女は生まれた  
梅香うめかの香る夜明けでした。

あの女の子  
その女の子

みんな昔の雪だ  
みんな昔の雪だ  
ああ 昔の雪は  
どこへ行ったのか

雪がしばらくしてやむと  
やがて明るい朝でした。

鶴が輪を描いて舞ってゐた  
清らの笛を空に鳴らして。

### 5 老雪

北国やよいなかも弥生や半ばは  
雪ゆき老いて瘦かせたりな  
つやあせて 香かの失せて  
わが姿ながらよ

夜ゆいどほし月光は窓からさして  
揺籃ゆらんのまはりを去らずにゐた。

咲く花は 見ずて消ゆ

この児を雪子と名づけます  
清い乙女となるやうに。

### 6 雪中越冬

### 3 雪の中の歌

遠くで僕は歌っている

越後えちごの冬はながいから  
半としつづく冬だから  
高田の雪は深いから  
人の情と似ないから

## 第2ステージ

雪関白宣言 さだ まさし

### 1 北の国から

遥かなる大地より～蟹のテーマ

ガオリズ

### 2 秋桜

コスモス  
うすべに淡紅の秋桜コスモスが秋の日の  
何気ない陽溜りに揺れてる  
この頃 涙脆くなった母が  
庭先でひとつ咳をする  
縁側でアルバムを開いては  
私の幼い日の思い出を  
何度も同じ話 くりかえす  
独り言みたいに 小さな声で  
こんな小春日和の 穏やかな日は  
あなたの優しさが 浸みて来る  
あした  
あした明日嫁ぐ私に  
苦勞はしても  
笑い話に時が変えるよ  
心配いらないと笑った

あれこれと思い出をたどったら  
いつの日も ひとりではなかつたと  
今更ながら我儘な私に  
唇かんでいます  
明日への荷造りに手を借りて  
しばらくは楽し気にいたたけれど  
突然涙こぼし元気できず  
何度も何度もくりかえす母  
ありがとうの言葉を  
かみしめながら  
生きてみます私なりに  
こんな小春日和こはるびよりの 穏やかな日は  
もう少しあなただけ  
子供でいさせてください

### 3 関白宣言

お前を嫁にもらう前に  
言っておきたい事がある  
かなりきびしい話もあるが  
俺の本音を聴いておけ  
俺より先に寝てはいけない  
俺より後に起きてもいけない  
めしは上手く作れ いつもきれいでい  
できる範囲で かまわないから  
忘れてくれるな 仕事もできない男に  
家庭を守れる はずなどないってことを  
お前にはお前にしか できないこともあるから  
それ以外は口出しせず 黙って俺についてこい

お前の親と俺の親と  
どちらも同じだ大切にしろ  
姑 小姑かしこくこなせ  
たやすいはずだ愛すればいい  
人の陰口言うな聞くな  
それからつまらぬ嫉妬はするな  
俺は浮気はしない たぶんしないと思う  
しないんじゃないかな  
ま、ちよっと覚悟はしておけ  
しあわせは二人で 育てるもので  
どちらかが苦勞して つくろうものではないはず  
お前は俺のところへ 家を捨てて来るのだから  
帰る場所はないと思え これから俺がお前の家

子供が育って年をとったら  
俺より先に死んではいけない  
例えばわづか一日でもいい  
俺より早く逝ってはいけない  
何もいらない俺の手を握り  
涙のしづくふたつ以上こぼせ  
お前のおかげで いい人生だったと  
俺が言うから 必ず言うから  
忘れてくれるな 俺の愛する女は  
愛する女は 生涯お前ひとり  
忘れてくれるな 俺の愛する女は  
愛する女は 生涯お前ただひとり

## 4 案山子

元気でいるか 街には慣れたか  
友達できたか お金はあるか  
寂しかないか  
今度いつ帰る

城跡から見下ろせば 蒼く細い河  
橋のたもとに 造り酒屋のレンガ煙突  
この町を綿菓子に 染め抜いた雪が  
消えればお前が ここを出てから  
初めての春

手紙が無理なら 電話でもいい  
金頼むの 一言でもいい  
お前の笑顔を 待ちわびる  
お袋に聴かせてやってくれ

元気でいるか 街には慣れたか  
友達できたか  
寂しかないか お金はあるか  
今度いつ帰る

山の麓 煙はいて 列車が走る  
風が雑木林を 転げ落ちてくる  
銀色の毛布つけた 田圃にぼつり  
置き去られて 雪をかぶった  
案山子がひとり

お前も都会の 雪景色の中で  
ちようどあの案山子の様に  
寂しい思い してはいないか  
体をこはしてはいないか

元気でいるか 街には慣れたか  
友達できたか  
寂しかないか お金はあるか  
今度いつか帰る

## 5 防人の詩

おしえてください  
この世に生きとし生けるものの  
すべての生命に 限りがあるのならば  
海は死にますか 山は死にますか  
風はどうですか 空もそうですか  
おしえてください  
私は時折 苦しみについて考えます  
誰もが等しく抱いた悲しみについて  
生きている苦しみと 老いていく悲しみと  
病いの苦しみと 死にゆく悲しみと  
いまの自分と

答えてください  
この世のありとあらゆるものの  
すべての生命に約束があるのなら  
春は死にますか 秋は死にますか  
夏が去る様に 冬が来る様に  
みんな逝くのですか  
わずかな生命のきらめきを 信じていいですか  
言葉で見えない 望みといたたものを  
去る人があれば 来る人もあって  
欠けてゆく月も やがて満ちて来る  
なりわいの中で

おしえてください  
この世に生きとし生けるものの  
すべての生命に限りがあるのならば  
海は死にますか 山は死にますか  
春は死にますか 秋は死にますか  
愛は死にますか 心は死にますか  
私の大切な故郷もみんな 逝ってしまいますか

## 第3ステージ

山に祈る 構成 作詞 作曲 清水脩

### 《 前奏 》

### 山の歌

- 1 山よ お前の ふところ  
山の男のふるさとよ  
うれしい時は山へ行く  
さびしくなれば尾根歩き
- 2 山よ お前は 愉しそう  
ピークで呼ぶヤツホーを  
忘れずぐにこだまして  
山の仲間と呼びかわす
- 3 山よ お前の あで姿  
岩場、草つき、雪渓も  
みんなお前の肌の  
抱いてみたい肌ざわり
- 4 山よ お前は もの言わぬ  
けれど代りにぼくたちが  
明日はいよいよアタックと  
ヒュッテの便りしておこう
- 5 山よ お前が 隠しても  
齒をむくようながレ場なら  
それがお前のしがい顔  
雪崩が残した爪の跡
- 6 山よ お前の 優しさは  
テラスの空の星のように  
テントの窓からしのびこむ  
小屋の窓から降ってくる
- 7 山よ お前の きびしさは  
霧と雨との捲き返し  
風と吹雪のうなり声  
おそう白魔の大雪崩
- 8 山よ お前よ さようなら  
たき火の煙 消えないで  
林をぬけて頂上へ  
別れの言葉 告げてくれ
- 9 山よ お前よ いつまでも  
ぼくはお前を忘れまい  
お前もぼくを忘れずに  
お前もぼくを忘れずに

### 《 間奏 》

#### 朗読 誠 / 誠 /

母さんの手のひらにしっかりと握って  
いるのは、いつもお前が山へ持ってゆく  
お前の手帳です。お前の手垢でよごれ、  
お前の体臭がしみこみ、アルプスの雪に  
ぬれてぼろぼろになったお前の手帳で。  
右肩上がりの、少しばかり乱暴な字。

### 《 間奏 》

朗読 あれからもう一年経ちました。あの日、  
庭の梅の花が咲いて、春を告げていまし  
た。あと二日経てば、お前が山から帰っ  
てくるはずなので、母さんは、お前の机  
花びんに挿しておこうと、梅の一枝を折  
りってしまいました。お前の可愛がっていた  
コロ、お前に一番なついていたコロは母  
さんの足もとでじゃれていました。

母さんは、  
その時です。忘れもせません。ほんとうに  
その時でした。一通の電報が、母さんを  
地獄の底へ突き落としてしまいました  
手にした梅の枝をとり落とされたのにも気  
付かなかったのです。母さんの心の中の  
ものを、何もかも一どきに変えてしまったの  
です。

遭難。お前が山で遭難したのです。

### 《 間奏 》

朗読（手帳を読む）三月二日。十八時  
新宿駅集合。外の時は平気で遅れてく  
るヌーボ倉田も、山となると時間厳守。  
先発隊十二名は三日前に出発してい  
るので、今は倉田と二人。いつもの事  
ながら二人とも重いリュックだ。

### リュック・サックの歌

リュック・サック  
リュック・サック

銀色に輝やいた岩壁  
元気づけてくれた友の声

(バス)

肩に食い込む重さでも  
山の友だと思えば軽い  
背中はずっしりかかればかかれ  
踏みしめ登る急坂も  
リュックがあれば気がはずむ

あれも これも まぶたの奥に  
まぶたの奥に  
揺れるように映る。  
明日も晴れてくれ。

- A「お前のは重そうだな」(第1テノール)  
B「うん、三十キロはたつぷり」  
(第2テノール)  
C「忘れものはないだらうな」(バリトン)  
D「チヨコレートならもつと持ちたいよ」  
(バス)

リュック・サック  
リュック・サック

中味は何だときかれても  
数え切れないこの重装備  
背中はずっしりかかればかかれ  
あの山この山 なつかしい  
リュックにつめた思い出よ

朗読 (手帳を読む) 三月三日。快晴。桃  
の節句。ここ十日ばかり晴天つづきとの  
こと。順子はおひな様を飾ってもらって  
いる事だらう。

十七時二十分、中房温泉着。

## 《 間奏 》

(手帳を読む) 又一ーポー倉田は中房へ  
着いて間もなく吐き気をもよおし、二度  
ほど吐いた。

明日は牛首コルの前進キャンプへ。  
二十時就寝。

## 山小屋の夜

満天の星  
凍る夜気

山々はくろぐると

雪に埋もれた小屋を包む

カンテラの鈍い光

リュックを枕に、重い足を

長々と伸ばして眼をつむれば

沢で飲んだ水のうまさ(第1テノール)

額を流れた汗の玉(第2テノール)

振り仰いだ空の青さ(バリトン)

朗読 (手帳を読む) 三月四日。昨夜はあ  
りよく眠れなかった。又一ーポー倉田は  
やはり具合が悪いのでゆくのをやめる。  
ぼく一人でみんなの後を追う事に決め  
る。午前六時十分。中房出発。十一時  
半燕山荘に着く。あと四時間でみみなに  
会える。ラジオでは天候がくずれるか  
も知れぬという。でも牛首コルまでは  
慣れたルート。

## 山を憶う

なぜ 山を憶うのか  
山は神秘だから。

なぜ 山を慕うのか  
山は優しいから。

なぜ 山に挑むのか  
山はきびしいから。

怒れば巨人となつて  
人間の知恵を打ち挫き  
ほほえめば乙女となつて  
汚れない愛をふりそそぐ

山は哲学者だ

## 《 間奏 》

朗読 (手帳を読む) 早くみみなに会いたか  
った。大天井まで来る。キャンプは近  
い。吹雪でトレースわからず。十六時、  
ビバーク地探す。山の天候のカンをあ  
やまっただようだ。

今日はビバークか。

なぜ 山へ登るのか  
山がそこにあるから

## 吹雪の歌

吹雪  
吹雪  
吹雪

引き裂き うなり  
嘯み挫きのたうつ  
白い悪魔の雄たけび  
白い巨人の咆哮。

吹雪  
吹雪  
吹雪

逆まき 狂い  
押しつぶし 噴き上げる  
白い悪魔のかちどき  
白い巨人の怒号。

吹雪になれば

山の怒りにふれたアルピニストの  
墓標のかげに立ち現われ、  
牙をむいて雪崩の巢をつくり、  
死の眠りを誘い、  
誇らかに人間を嘲笑う。

(バス)

吹雪  
吹雪  
吹雪

朗読 (手帳を読む) 三月五日。午前七時十五分。依然として吹雪きおさまらず、昨日の五時より十四時間と十五分たった。昨夜は六時間位眠ったが、場所がよくなないので寝苦しかった。寒い。明け方から腹の方が体温でぬれてきた。今朝、ビタミン剤五ヶのおむ。食欲はない。乾パン十枚あるから節約して食うつもり。ハムはシラフの下なので出せない。

## 《 間奏 》

朗読 お母さんは誠と心の中で呼んだだけで、もう胸が苦しく、悲しみに押しつぶされそうです。  
大学の卒業を眼の前にして、就職も決まったというのに、誠は逝ってしまっただ。悪夢なら醒める事もありましょう。

「お母さん、只今！」という元気な声が、今にも戸口から聞こえてくるようです。お嫁さんや結婚式場のことで想像して、母さんの胸は幸福にふくらんでいました。

だのに、だのに……(泣き伏す)

## 《 間奏 》

朗読 (手帳を読む) 十二時二十五分、依然、吹雪はげし。この吹雪は永くは続くまい。明日はよくなるう。寒い。がまんが大切。シラフもシラフ・カバーもぬれていく。下半身ぬれて苦しい。

十五時十五分。吹雪おとろえず。視界きかず。

なぜ一人で無理をしたのか。

—(間)—

下半身凍って動かない。—(間)—  
お母さん、お母さんのことを思うとど  
うしても帰りたい。

## お母さん、ごめんなさい

お母さん ごめんなさい  
やさしいお母さん ごめんなさい  
ゆたか、やすし、順子よ、すまぬ。  
お母さんをたのむ。

## 《 間奏 》

朗読 (手帳を読む) 手の指、凍傷で、思うことでの千分の一も書けず。全身ふるえ。ねむい。

お母さん ごめんなさい  
やさしいお母さん ごめんなさい  
さきに死ぬのを許して下さい。

## 《 間奏 》

朗読 (手帳を読む) (激して)  
山でうぬぼれず、つねに自重すること。  
(泣き伏す)

お母さん ごめんなさい  
やさしいお母さん ごめんなさい